

(平成29年度) 第1回運営推進会議実施報告書

平成29年7月28日

事業所名	大田区立たまがわ高齢者在宅サービスセンター	サービスの種類	認知症対応型通所介護
電話番号	03 ( 5732 ) 1023		
開催日時	平成29年 7月 28日( 金 ) 14:00 ~ 15:15		
開催場所	大田区下丸子4-23-1 大田区立特別養護老人ホームたまがわ 会議室		
出席者 7人	(内訳)		
	利用者	1名	
	利用者家族	1名	
	地域の代表	民生委員 1名	
	区・地域包括支援センター	1名	
	その他		
	事業所職員	3名	
◆活動報告・活動計画 活動状況報告書(別紙添付)のとおり説明を行う。			
◆事業所に対する意見・要望 【民生委員】 ・一人暮らしの高齢者が多く、大田区から依頼された時は様子を伺うことができているが、高齢で二人暮らしの方は登録されていないこともあり、状況が把握できない。登録されていない方は地域包括支援センターにお願いするしかなく、どこまで民生委員として関わっていいのか対処の仕方悩む。 ・デイサービスに出向ける方がいいが、拒否がある方は大変。 ・訪問する時は民生委員とは声をかけないようにしている。警戒する方もいらっしゃる為、〇〇町会ですと言うようにしている。 ・数年前に近所の方から相談があった。息子と二人暮らしの男性で息子は就労していて夜中に帰ってくる。暑い中、扇風機やエアコンをつけないで過ごしているようだ、心配されての相談だった。息子と連絡を取りたくても中々、とれない状況があった。その後、脱水で入院となった例があった。 ・ご近所の方は大切、ご近所の方の情報も大切。地域の力は大きいと感じます。 【地域包括支援センター】 ・徘徊で保護された時、見守りキーホルダーが役に立っているが、家族が居る方はすぐに迎えに行ってくれるが、身寄りのない方が保護された時や家族が遠方の方は誰が対応できるかと。デイサービスの職員にお願いした事もある。我々も対応しているが、見守りを地域でどう見守っていくのが課題としてある。 ・デイサービス利用されている認知症の方や一人暮らしで準備ができない方等はどこまでデイサービスの職員が手伝ってくれるのかとの相談がある。現実として費用の件もある。 【ご家族】 ・デイサービスに行くのが嫌だと言ったことはない。明日がセンターだと自分で準備する。 それ以外は何もしない! ・散歩も続けているが、足が重いと話すこともある。目蒲病院とは17年前の病気がきっかけで、現在もリハビリに通っている。 ・この頃、逆の立場ならどうかな?と考えることがある。何も解らないから。 ・たまがわのオレンジカフェにはいつも参加している。先生にアルツハイマー型認知症の特徴(帰れ			

※会議録作成にあたって

- ・報告書は2ページにわたっても構いませんので、文字は縮小しないでください。

なくなる)を聞いた。

- ・オレンジカフェのチラシを友達にも配っている。捨てられないように工夫してポストに入れている。
- ・鵜の木まつりの時に「自分の家が分からない」と声をかけられたが、どうすればいいのか？近くにいた郵便局員の方が聞き出せた住所でなんとか帰ることができたようだが。交番に連れて行くにも遠い。
- ・今まで、通っていた床屋も高齢だったり諸事情で店を閉めてしまいとても不便を感じる。昔ながらの馴染の床屋がなくなり淋しくも感じる。

#### 【利用者】

- ・不便なことはない。

#### ◆要望・意見に対する事業所からの回答

- ・色々な事情を抱えている高齢者も多くいる中で、把握できない世帯に入り込もうとしている。近隣の集合住宅からの相談や依頼も以前より増えている。
- ・対処の仕方で迷うことがあれば、地域包括支援センターに相談してください。
- ・徘徊について、大変ではあるが、外に出てもらう方がいい。家の中から出ることがない方が生活状況が分からないことが多く、危険もある。この時季だと熱中症等。
- ・保護された方に身内がない時や誰も対応できない時は、警察がきちんと自宅まで送ってくれる。
- ・見守りキーホルダーの問合せが大田区では1か月で約30件程あり、夜間帯は特別養護老人ホームの職員が対応している。
- ・見守りについては郵便配達、新聞配達、床屋さん等も社会資源の一つと捉えることができる。
- ・自分の家が分からない方を保護した場合は交番が遠いなら、警察に電話する。近くにいる人に声をかけるなどすると良い。
- ・オレンジカフェでは先生を中心に認知症について、地域の方々と一緒に話しながら、勉強しましょうと実施している。どんどん、地域の方に声をかけていただきたい。
- ・家でも町会でも女性陣に支えてもらっている。
- ・熱中症について、高齢になると温度管理が難しく、暑いのに暑さを感じなくなり、気が付いたら熱中症になっているケースが多い。高齢者の方に水分を飲んでと言っても、そんなに飲めない為、デイサービスでは、お茶ゼリーやイオン水ゼリーを活用している。皆さんゼリーだとすんなりと摂ってくれる。